

平成26年度

埼玉県支部事業計画・予算承認

平成26年2月13日(木)埼玉県支部において、平成25年度第5回評議員会を開催しました。当日は、平成26年度事業計画(案)並びに予算(案)等の審議が行われ、原案のとおり承認されました。

今後とも県民の皆様のご期待に沿えるよう、地域に根ざした活動の推進に力を尽くしてまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



救命手当の講習会

講習用的人形とAEDトレーナー器

救急法・幼児安全法等講習普及 44,550千円

- 健康で安全な生活が送れるよう、AEDを用いた心肺蘇生を中心とした救命手当の講習会などを県内各地で開催、地域、自治会、職域など多くの方々へ知識と技術の普及に努めます。
- 救急法、幼児安全法、水上安全法、健康生活支援講習などの各講習で使用する講習人形やAEDトレーナー器など講習資器材の整備に努めます。
- 救急法の普及を促進するため、救急法指導員の養成を行います。



搬送訓練をするボランティア

赤十字ボランティア活動 24,618千円

- 炊き出し訓練や被災地の奉仕団との交流を通じて、災害時に求められる奉仕団活動の向上に努めます。
- 地域での赤十字活動のPR、献血の推進、義援金の募集など奉仕団のネットワークを生かした活動を行います。



市区町村の市民まつりでの募金活動

国際救援活動 83,887千円

- カンボジア地雷犠牲者救援事業やベトナム赤十字社災害対策事業をはじめ4か国に対し、各種支援事業を継続実施いたします。



給水設備の調査・整備(フィリピン)



防災用に植林されたマングローブ(ベトナム)

献血思想の普及や地域社会福祉活動推進 9,110千円

- 県民への献血思想の普及や特別養護老人ホームの充実に努めます。



クリスマス献血キャンペーン

市区町村での赤十字活動 67,530千円

災害救護活動 120,619千円

- 東日本大震災や埼玉県竜巻災害のような突然の災害に救護班を直ちに派遣できるように、救護訓練の充実を図ります。
- 大規模な災害が発生したとき、迅速にお届けできるよう常に救援物資を備蓄しています。また、県内で発生した火災や風水害などで被災されたの方々に対しても、救援物資(布団セット、毛布、日用品セット)などをお届けしています。
- 県民の防災力の向上のため、防災ボランティアの育成、自治会と協力した防災訓練、奉仕団の体制強化に努めます。



災害救護訓練



救援物資(緊急セット)

青少年赤十字活動 44,873千円

- 児童生徒が学校教育の中で、赤十字活動の理解、実践を図れるよう青少年赤十字の育成強化に努めるとともに、新規加盟校の促進に努めます。
- 国際交流や国際救援活動の体験学習の場を設け活動の充実に努めます。



ボランティア活動



校内での募金活動

平成26年度
事業 予算
合計
726,413千円

救急医療や看護師養成 112,406千円

- 県内赤十字病院の救急医療体制の充実を図るため、超音波診断装置などの医療機器整備への助成やさいたま赤十字看護専門学校への助成を行い医療体制の向上に努めます。



卒業式(看護専門学校)



超音波診断装置(深谷赤十字病院)

赤十字社員の加入促進や広報活動 85,048千円

- 赤十字活動への理解をさらに深めてもらうため、広報誌などの作成、配付を行うと共に赤十字活動を体験できる参加型イベントを県内市区町村、企業、団体などの協力を得て開催いたします。



赤十字ふれあい広場



市区町村市民まつりでのPR活動

業務運営管理等 133,772千円